

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 日本出版貿易株式会社

コード番号 8072 URL <http://www.jptco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 綾森 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員事業管理部長

(氏名) 岩崎 哲明

TEL 03-3292-3751

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,621	△3.1	△15	—	△18	—	△19	—
25年3月期第1四半期	1,673	1.7	13	—	14	—	△8	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △10百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △6百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△2.80	—
25年3月期第1四半期	△1.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	5,183	1,157	22.3	165.98
25年3月期	6,769	1,168	17.3	167.51

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 1,157百万円 25年3月期 1,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,400	7.9	4	△43.9	△20	—	△40	—	△5.73
通期	8,100	0.1	120	—	80	—	65	△79.1	9.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	7,000,000 株	25年3月期	7,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	23,450 株	25年3月期	23,450 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	6,976,550 株	25年3月期1Q	6,977,709 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成26年3月期の連結業績予想は、「平成25年3月期 決算短信」(平成25年5月15日付)において公表した数値より変更していません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安と株高が進行し、製造業を中心とした企業収益と一部個人消費にも回復傾向がみられました。しかしながら海外経済の減速懸念と円安による輸入原材料価格の上昇、電気料金の値上げなど、依然として先行きの不透明感は払しょくされておられません。

このような状況のなか、当社グループの輸出部門は円安メリットを享受して利益を確保致しましたが、輸入部門は苦戦を強いられました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16億2千1百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。営業損失は1千5百万円（前年同四半期の営業利益1千3百万円）、経常損失は1千8百万円（前年同四半期の経常利益1千4百万円）となりました。四半期純損失は1千9百万円（前年同四半期の四半期純損失8百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントの業績は以下のとおりであります。

(出版物・雑貨輸出事業)

円安により日本語教材、CDの売上が好調でしたが、海外大学図書館、研究機関向け定期雑誌は廃刊、刊行遅れなどで減収となりました。

その結果、当部門の売上高は3億6千万円（前年同四半期比1.0%減）、営業利益は1百万円（前年同四半期比79.6%減）となりました。

(洋書事業)

東南アジア中心に日本語を学ぶ留学生が増加し、日本語テキストの売上が伸びております。また政府の英語教育改革の提案を受けて、TOEIC、TOEFL関連の英語教材などは堅調に売上を伸ばしております。弊社専売商品のフランス雑誌、アイドル関連の雑誌も堅調な売上でしたが、円安もあり収益面での効果は限定的でありました。なお、引き続き自社物流センターの合理化、効率化を進めて参ります。

その結果、当部門の売上高は3億1千8百万円（前年同四半期比2.5%減）、営業損失は4千万円（前年同四半期の営業損失2千6百万円）となりました。

(メディア事業)

輸入音響関連商品はアベノミクスによる急激な円安状況の中で、コストの急騰、市場売価の値上げなどにより苦戦いたしました。経済状況を勘案して、高価格帯のプライベート商品シリーズを強化いたしました。特にクラシックの「ブリリアント・シリーズ」、ジャズレーベルの「Not Now Music」の代理店商品は好調です。また欧州から輸入したスマートフォン関連のヘッドフォンは雑貨店、書店などの独自チャンネルの取扱いが拡大しております。

その結果、当部門の売上高は8億1千1百万円（前年同四半期比4.9%減）、営業利益は3千9百万円（前年同四半期比30.2%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

前期に日貿ビルを売却して賃料収入は減少しておりますが、新日貿ビルは計画通り推移しております。札幌の学生会館は北海道経済の低迷で入居者が減少しており、苦戦を強いられております。

その結果、当部門の売上高は2千2百万円（前年同四半期比27.0%減）、営業利益は8百万円（前年同四半期比25.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億8千6百万円減少し、51億8千3百万円となりました。

これは主に流動資産で現金及び預金が8億7千7百万円、受取手形及び売掛金が8億2千7百万円減少し、商品及び製品が6千6百万円増加したことが要因です。短期借入金の返済により現金及び預金が減少し、大学等への英語教科書の春季販売分の回収により受取手形及び売掛金が減少しております。また、商品及び製品の増加はネット販売等の受注増加に速やかに対応できるよう在庫量を調節したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ15億7千5百万円減少し、40億2千5百万円となりました。これは主に流動負債で支払手形及び買掛金が5億6千5百万円、短期借入金が9億2千9百万円減少したことが要因です。受取手形及び売掛金で記載した大学等への英語教科書の仕入代金支払により支払手形及び買掛金が減少し、金融機関への返済により短期借入金が減少しております。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は11億5千7百万円となり前連結会計年度末に比べ1千万円減少しております。これは主に四半期純損失1千9百万円の計上が要因です。

以上の結果、自己資本比率は22.3%（前連結会計年度末は17.3%）となり、5ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期におきましては、ほぼ計画通りに推移しておりますので平成25年5月15日発表の第2四半期累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率に乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,166,764	1,288,909
受取手形及び売掛金	2,546,745	1,719,351
商品及び製品	803,566	870,242
原材料及び貯蔵品	492	514
繰延税金資産	28,652	28,330
その他	111,643	166,277
貸倒引当金	△7,042	△5,866
流動資産合計	5,650,821	4,067,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	146,408	143,657
土地	700,300	700,300
リース資産（純額）	23,748	27,435
その他（純額）	9,973	9,527
有形固定資産合計	880,430	880,920
無形固定資産	61,462	61,466
投資その他の資産		
投資有価証券	135,025	131,026
長期貸付金	14,117	14,551
繰延税金資産	0	—
その他	72,215	71,669
貸倒引当金	△44,194	△43,953
投資その他の資産合計	177,163	173,293
固定資産合計	1,119,056	1,115,680
資産合計	6,769,878	5,183,438

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,103,944	1,537,962
短期借入金	2,058,485	1,129,220
リース債務	11,426	12,680
未払法人税等	5,231	3,198
前受金	262,209	257,787
賞与引当金	19,046	4,701
返品調整引当金	44,903	28,004
その他	195,561	183,994
流動負債合計	4,700,807	3,157,549
固定負債		
長期借入金	297,460	267,490
リース債務	20,294	22,159
退職給付引当金	136,480	133,866
繰延税金負債	181,062	179,620
再評価に係る繰延税金負債	218,820	218,820
その他	46,311	45,942
固定負債合計	900,430	867,900
負債合計	5,601,238	4,025,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	430,000	430,000
資本剰余金	195,789	195,789
利益剰余金	200,225	180,663
自己株式	△5,706	△5,706
株主資本合計	820,309	800,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,604	△80
土地再評価差額金	395,153	395,153
為替換算調整勘定	△49,427	△37,831
その他の包括利益累計額合計	348,330	357,241
純資産合計	1,168,639	1,157,988
負債純資産合計	6,769,878	5,183,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,673,111	1,621,619
売上原価	1,369,914	1,342,639
売上総利益	303,197	278,980
返品調整引当金戻入額	26,177	29,510
返品調整引当金繰入額	11,992	12,611
差引売上総利益	317,382	295,879
販売費及び一般管理費	303,794	311,174
営業利益又は営業損失(△)	13,587	△15,295
営業外収益		
受取配当金	4,335	2,081
貸倒引当金戻入額	1,323	1,417
為替差益	4,307	1,893
その他	284	565
営業外収益合計	10,251	5,957
営業外費用		
支払利息	9,333	7,024
その他	9	1,807
営業外費用合計	9,343	8,831
経常利益又は経常損失(△)	14,495	△18,169
特別損失		
投資有価証券評価損	16,289	—
その他	221	—
特別損失合計	16,510	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,014	△18,169
法人税等	6,854	1,392
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,869	△19,562
四半期純損失(△)	△8,869	△19,562

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,869	△19,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,770	△2,684
繰延ヘッジ損益	656	—
為替換算調整勘定	11,886	11,595
その他の包括利益合計	2,772	8,911
四半期包括利益	△6,096	△10,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,096	△10,650
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	出版物・ 雑貨輸出 事業	洋書事業	メディア 事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	363,522	326,645	853,439	31,368	1,574,976	98,134	1,673,111	—	1,673,111
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	88,230	—	—	—	88,230	332	88,563	△88,563	—
計	451,753	326,645	853,439	31,368	1,663,207	98,467	1,761,674	△88,563	1,673,111
セグメント 利益又は損 失(△)	7,939	△26,804	55,959	11,949	49,043	△12,858	36,185	△22,598	13,587

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△22,598千円はセグメント間取引消去△477千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△22,120千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	出版物・ 雑貨輸出 事業	洋書事業	メディア 事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	360,045	318,590	811,962	22,885	1,513,484	108,134	1,621,619	—	1,621,619
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	96,725	—	—	—	96,725	186	96,912	△96,912	—
計	456,771	318,590	811,962	22,885	1,610,210	108,321	1,718,531	△96,912	1,621,619
セグメント 利益又は損 失 (△)	1,618	△40,879	39,045	8,890	8,674	△979	7,694	△22,989	△15,295

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△22,989千円はセグメント間取引消去△1,099千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△21,890千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社（提出会社）の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。